

日本応用地質学会 研究発表会 講演論文の原稿作成要領

1. 原稿の構成

- 1) 原稿は 2 ページとします。Microsoft(R) Word(R)等で作成し、PDF ファイルに変換して提出してください。
- 2) 原稿の PDF ファイル提出方法については、学会ホームページ「令和8年度 日本応用地質学会 研究発表会 (<https://www.jseg.or.jp/event/event-4396/>)」にてアナウンスさせていただきます（8月上旬頃を予定）。投稿の際の PDF ファイル名は、下記の例のように「講演番号の 3 文字の英数字_発表者名字のローマ字表記」としてください。なお、PDF ファイルの容量は 3MB 以下を目安に提出してください。
- 4) 原稿は A4 判で作成してください。そのままの大きさ、レイアウトで講演論文集を作成します。Microsoft Word 版の原稿フォーマットを用意していますので、必要に応じて利用してください。
- 5) 原稿には、プログラムに示された論文番号・表題と著者の氏名・所属を記入し、発表者名の前に○印を付してください。ポスター発表の場合は論文番号の前にアルファベット大文字の「P」を付してください。

（表題番号の記入例）

※PDF ファイル名とは異なりますのでご注意ください。

- | | |
|----------------------|------|
| 口頭発表の発表番号 1 番の場合は | 1. |
| 口頭発表の発表番号 12 番の場合は | 12. |
| ポスター発表の発表番号 1 番の場合は | P1. |
| ポスター発表の発表番号 12 番の場合は | P12. |
- 6) 表題は第 1 行目の中央とし、1 行あけて氏名・所属を行の右端に寄せて書き、さらに 1 行あけ、本文としてください。

2. 原稿の書き方

- 1) 原稿は原則として和文とします。
- 2) 講演論文集（PDF）には、提出していただいた PDF ファイルをそのまま掲載いたします。
- 3) 余白は上下左右すべて 20mm とし、24 文字×50 行の 2 段組みで作成してください。2 段組み以外の原稿は受けませんのでご注意ください。
- 4) 文字サイズは論文番号および表題（和文）は 14 ポイント、その他は 9 ポイントを使用してください。
- 5) 現代仮名づかいを用い、漢字は原則として常用漢字を使用してください。ただし、固有名詞や広く用いられている慣用の語はこの限りではありません。本文中の人名には敬称を付けないでください。
- 6) 本文中に外国語を挟むことはできるだけ避けてください。ただし、適当な訳語がない術語や固有名詞はこの限りではありません。
- 7) 句読点は全角カンマ（,）と全角ピリオド（.）を使用してください。また、カタカナは全角文字を、英数字は半角文字を使用してください。
- 8) 単位は完全 SI 表記とします。
- 9) 図表および写真にはすべて、図－○、表－○、写真－○のように番号を付けてから表題を入れてください。表題の位置は、図・写真の場合は下、表の場合は上とします。
- 10) 図表・写真はなるべく本文の説明箇所と離れていない位置に挿入してください。
- 11) 図表は、論文の目的に合致した鮮明なものを用いてください。画像については、解像度が 300dpi 程度のものを用いてください。

- 12) 引用した文献は引用順に番号を付け、本文末に一括して記載してください。本文中には、引用箇所を上付き文字で 1) , 2) ...のように記載してください。詳しくは、当学会の論文投稿規 (https://www.jseg.or.jp/wp-content/uploads/2025/01/R6_pubrule.pdf) に準じてください。

3. 著作権について

研究発表会講演論文集に掲載された講演論文の著作権は本会に帰属します。ただし著者自身が講演論文の全部または一部を他に利用される場合には、その旨を本会に通知していただく必要はありません。また第三者から講演論文の複製、引用、転載などに関する許諾の申請があった場合は、本会において検討のうえ、必要に応じて許諾することとします。

以上をご確認のうえ、講演論文をご作成ください。ご提出いただいた講演論文につきましては、上記著作権に関する事項にご同意いただけたものとみなします。なお、過去の研究発表会講演論文集につきましても、著作権を本会に帰属させていただくこととしております

4. 応用地質 投稿規定 13条・14条の確認

講演論文は、学会投稿規定の13条、14条に則った内容となっていることを確認の上で投稿してください。

13. 内容が第三者の了解を要すると判断される場合（ほかの著作物からの図、表、写真あるいは文章の一部をそのまま転載する場合、特定プロジェクトに関係する場合など）は、あらかじめ投稿者の責任で処理しておくものとする。商業誌、所内報などに既に印刷済みのもの、あるいは投稿中のものと重複した内容をもつ原稿を投稿するときは、必ずその旨を明記する。上記の著作権問題は、著者自身が解決のうえ、許諾報告書等を改ざん防止処理をした電子ファイル（PDFファイル形式）として提出すること。
14. 学会誌に掲載する著作物の著作権（著作権法27条、28条に定める権利を含む）は一般社団法人日本応用地質学会に帰属（譲渡）する。ただし、著者がこれらの全部ないし一部を著者自身で他に利用する場合は、その旨を本学会に通知し、かつ、その記事の出所を明示すれば足りうるものとする。また、投稿原稿が受理され、第10項に定める著作権譲同意書の提出後、投稿原稿の著者最終稿（第10項に定める著者が本学会に提出する受理原稿）および投稿原稿に関する根拠データについて、本学会に通知した上で、機関リポジトリ等の情報基盤へ掲載することができる。なお、第三者から転載申し込みがあった場合には、本学会が可否を決定するものとする。

5. その他

- 1) 原稿投稿期限：口頭発表およびポスターセッションともにこの原稿作成要領に沿って原稿を作成し、
2026年10月2日（金）までに提出してください。※1週間延長しました
- 2) 内容は当学会の論文投稿規定に順じて、発表者の責任で万全を期してください。
- 3) 不明な点がございましたら学会事務局までご連絡ください。

問い合わせ先：日本応用地質学会事務局
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-14
お茶の水桜井ビル 7F
一般社団法人日本応用地質学会
TEL：03-3259-8232 FAX：03-3259-8233
E-mail：office@jseg.or.jp

以上



4. 考察

[illegible]

5. まとめ

[illegible]

6. 引用文献

- 1) 応用三郎・応用四郎（2009）：最新の物理探査手法と適用例，応用地質，第50巻，第1号，pp.2-14.
- 2) Harris, R. C. and Adams, J. A. S (1966) : Geochemical and mineralogical studies on the weathering of granitic rocks, Amer. Jour. Sci., Vol. 264, pp.146-173.